

これだけは覚えよう！重要ポイント

角柱

2つの合同な多角形を底面に持つ

側面

全て長方形（または平行四辺形）

高さ

2つの底面間の距離

Q. 角柱とは？ 2つの合同な多角形を底面に持ち、側面が長方形の立体。

① 角柱の定義

定義

上下に合同な多角形（底面）があり、側面が長方形でできた立体。

三角柱、四角柱、五角柱など

② 底面と側面

構成

底面は合同な多角形2つ。側面は底面の辺の数だけ長方形がある。

n角柱 → 側面n枚

③ 辺と頂点の数

公式

n角柱の辺は3n本、頂点は2n個。三角柱なら辺9本、頂点6個。

辺 = $3n$, 頂点 = $2n$

④ 高さ

重要

2つの底面間の垂直距離。側面の辺（高さ方向）の長さと同じ。

 h = 底面間の距離

💡 ミス回避のコツ

⚠️ 底面と側面を混同

✖

横の面が底面

○

上下の合同な面が底面

底面は「上下」にある合同な2つの面。

⚠️ 辺の数を間違える

✖

三角柱の辺は6本

○

三角柱の辺は9本 (3×3)

n角柱の辺は3n本。公式を覚えよう。

最終確認チェックリスト

- 角柱の定義を言えるか？
- 底面と側面の違いを理解したか？
- 辺と頂点の数の公式を覚えたか？